お手入れ

ご使用のたびにお手入れしてください。
トッププレート、プレートワク、操作部は汚れを放置したり、汚れたまま使うとこびりついてとれにくくなります。

⚠注意

必ず電源を切り、本体が十分に冷えたことを確かめてから行ってください。

○ベンジン、シンナー、みがき粉は絶対に使用しないでください。
○吸·排気カバーに水が入らないよう、ご注意ください。

天ぷら鍋（付属品）

1 薄めた台所用洗剤（中性）とお湯で洗う。
●たわしやみがき粉（クレンザー）は使用しないでください。

2 鍋底や外側の異物や汚れをとる。
●汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。
またトッププレートが汚れます。

3 洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬる。

●洗ったままにしておくと錆びる場合があります。
※天ぷら鍋に同梱の説明書をよく読んでご使用ください。
●鍋底がそってきたり、変形した場合は使用しないでください。お買い上げの販売店でお買い求めください。（8ページ）

1 吸·排気カバー

■本体から吸・排気カバーを外し、薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。
○たわしやみがき粉は使わないでください。
○お手入れ後は、水気をふきとり必ず本体にセットしてください。
○汚れて目詰まりしたまま使うと、通電を停止したり、ロースター使用中にロースタードアから煙がもれたりする場合があります。

2 前面表示部·パネル操作部·上面操作部·表示窓

■やわらかい布でふく。
○汚れがひどいときは台所用洗剤（中性）を布に直接つけてふきとり、もう一度絞ったふきん、乾いたふきんの順でふきとってください。
○水にぬらさないでください。故障の原因になります。

③ トッププレート

■絞ったふきんでよくふきとり、その後乾いたふきんでからぶきする。

○煮こぼれなどは、そのままにしておくとこびりついて取れなくなります。ご使用のたび、こまめにお手入れしてください。
故障の原因になります。

■汚れがひどいときは台所用洗剤（中性）を布に直接つけてふきとり、もう一度絞ったふきん、乾いたふきんの順でふきとる。

※酸性・アルカリ性の強い洗剤（漂白剤、住宅用合成洗剤など）は使わないでください。（トッププレート・プレートワクの変色の原因になります。）

○落ちにくい汚れは、冷えてからトッププレート専用クリーナーやクリームクレンザーなどを丸めたラップにつけてこすりとる。

※ドライバーなど先の鋭いものや目の粗いみがき粉は、トッププレートを傷つけるので使わないでください。

煮こぼれがこびりついてしまったときは

●市販のセラミック用スクレーパー等で煮こぼれの部分だけを軽く削り落とし、その後よくふきとる。

別売品 トッププレート専用クリーナー

●トッププレートの汚れをおとし、光沢をだし、ふきこぼれによる汚れや焦げつきを抑えます。

品　名：ガラスクリーナー
型　式：HT−K1
希望小売価格：1,470円
（税抜1,400円）
2007年10月現在

※お買い上げの販売店にご相談ください。
希望小売価格は価格改定に伴い変更する場合があります。

④ プレートワク（ステンレス製）

■絞ったふきんでよくふきとり、その後かわいたふきんでからぶきする。

■こびりついた汚れはクリームクレンザーなど少量を丸めたラップにつけてこすりとる。

○ステンレスの筋（横方向）にそってこすってください。縦方向にこすると傷つくことがあります。

筋の方向は横向きです。

お　願　い

しょうゆなどの調味料をこぼしたらすぐにふきとってください。
放置すると汚れあとが残ることがあります。

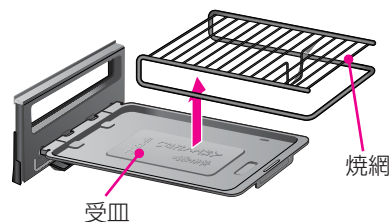
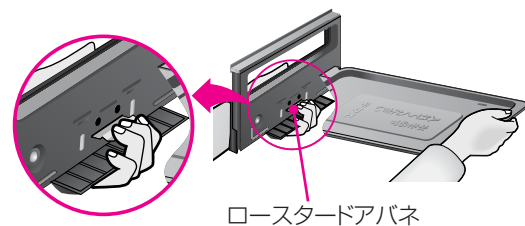
吸・排気カバーの下の油汚れもこまめにお手入れしてください。

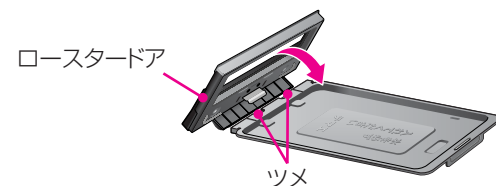
5 ロースター

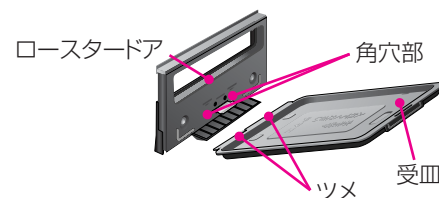
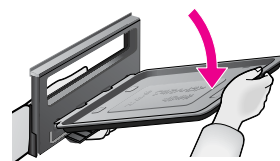
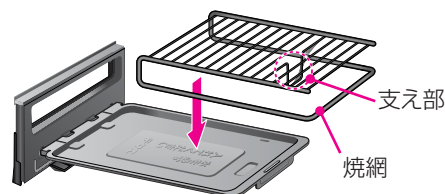
ロースタードア・受皿の取り外し、取り付けかた

取り外しかた

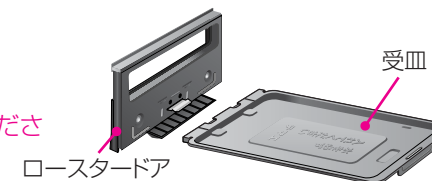
1 とってを両手でしっかり持ちゆっくり止まるまで引き出し、斜め上に持ち上げながら外す。
※受皿内の水や油がこぼれないよう注意してください。

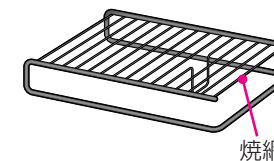
2 受皿にのっている焼網を外す。

3 とっての下側に手を回し、ロースタードアバネを軽く引き下げる。

※ロースタードアバネを押さえずに無理に外すとロースタードアが破損したり、変形することがあります。

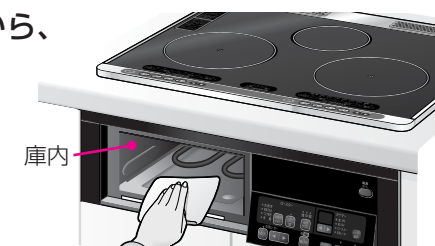
4 ロースタードアを受皿側に倒すようにし、受皿に付いている左右2ヶのツメを外す。

取り付けかた

1 受皿に付いている左右2ヶのツメをロースタードアの角穴部に斜め下より差し込む。

2 ロースタードアを手でささえ、受皿を図のように下げる。
※カチッと音がして受皿が固定されます。

3 焼網をのせる。
○焼網は支え部をロースターの奥側にしてのせてください。
※のせる向きを逆にすると、本体に取り付けられません。

4 斜め上からはめ込み、ロックするまでゆっくり押す。

ロースタードア・受皿のお手入れ

■薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。
○たわし・みがき粉は使用しないでください。
（表面を傷つけます。）
○ロースタードアは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器には入れないでください。（樹脂部が変形します。）

焼網のお手入れ

■薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。
○金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。
傷が付いたりすることがあります。
○ご使用の度にお手入れしてください。
汚れがこびりつくと調理物が取りにくくなることがあります。
○焼網は消耗品です。いたんだ場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。（8ページ）

庫内のお手入れ

■庫内や受け皿などが十分に冷えていることを確認してから、受皿を取り出し、庫内の油汚れをふきとる。
※絞ったふきんで軽くふきとってください。
強くふきますと塗装が傷むことがありますのでご注意ください。
※庫内には、ロースターヒーターや取付用金具等がありますので、十分にご注意ください。

クリーニングのしかた

■ロースター庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

●洗って水気をふきとったロースタードアと受皿をロースター庫内にセットし、ロースタークリーニングキーを押した後、スタート/切キーを押してください。ロースター庫内の油を焼き切るため、受皿には水を入れません。（ロースター庫内を高めの温度で自動コントロールします。）

※焼網は絶対にセットしないでください。
※約10分で自動的に終了し、通電を停止します。
※においを軽減しますが、汚れを除去することはできません。

※クリーニング中はロースター庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ず換気扇を使用してください。

途中で終了する場合は、スタート/切キーを押してください。